



# 基本理念

自律的に改革を続け

教育の質を国際的に保証するとともに

常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた

最高水準の研究教育拠点となる

## 目指す姿と行動計画

### 1 社会の課題に応える大学

国際社会、国あるいは地域社会、産業界、市民等が求める新しい科学領域に常に挑戦し、科学や技術のフロンティアを開拓し続ける人材と組織を構築し、社会や学界の多様な課題に応える。

#### 【科学の融合と統合】

専門分化が進む科学技術を俯瞰して、大局的に社会のあるべき姿を描き、理想とする社会を実現するために必要となる社会制度やサービス、それらを支える各種技術を構築する視点から、新しい科学技術開発方法論を展開し、人文社会科学や自然科学、先端技術等、それぞれの分野の研究と教育の有機的な融合と統合を推進する。

#### 【社会システムの提案】

人類の幸福に貢献する社会システムを提案するとともに、人類文明が及ぼす地球規模での影響や環境の変化や文化への影響を幅広く扱う諸科学とそれに基づく政策科学を先導する。

#### 【文化の多様性の維持】

人類文化の多様性の維持とグローバルイノベーションによる均一化をいかに調和させるかを考え、持続性を持って発展する社会を開く新しい科学領域を常に提案し続ける。

### 2 最高水準の研究を推進する大学

過去の蓄積を基盤に独創的、学際的な基礎研究とそれに支えられた先端研究を推進し、卓越した学術研究の成果を挙げ、あらゆる分野で世界のトップレベルを目指す。

#### 【真理の探究と創造の拠点化】

大学創設以来の知の蓄積を基盤に、真理の探究と創造・展開を行い、先進的な知的成果を生み出す研究活動を推進する。常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた最高水準の研究教育拠点をめざし、継続的かつ積極的に拠点の形成を展開する。

#### 【学際的研究の推進】

人文科学から、社会科学、理工学、生命科学、芸術工学までを包含する基幹的総合大学としての特徴を活かし、独創的かつ学際的な研究を推進する。個々の学問領域の垣根を越えてあらゆる分野の知の蓄積を集結させ、新たな先端的研究を創出し、推進する。

#### 【課題解決型研究の推進】

近年顕在化してきた人口、環境、資源・エネルギー、自然災害、感染症等の様々な問題に対し、課題解決型の研究を推進し、世界の平和や人類と社会に貢献する。

#### 【優れた研究者の養成】

独創性が高く世界を牽引する研究者を養成するため、優秀で意欲的な若手研究者・女性研究者の研究環境を整備し、全学的な支援を行う。人材育成にとどまらず組織の活力を向上させ、研究活動を活性化する。

### 3 アクティブ・ラーナーを育成する大学

人類社会が抱える諸課題に対して、それまでに修得した知識に基づきつつも、自由な発想と柔軟な思考で、創造的に批判・検討し、建設的な解決策を創出できるように、生涯に渡り自律的に学び、知識人としても人間としても成長し続けるアクティブ・ラーナーを育成する。

#### 【生きた学問の体験】

常に生きた学問に接触し、それを追究できる体験重視の学習環境を提供して、学生に主体的な課題の発見を促し、その解決の喜びと実感を通して探究心を涵養する。また、こうした体験学習を、問題解決に必要な強靱な精神力と考察力を培う機会と位置付け、それにより柔軟な思考力と豊かな発想力を育む。

#### 【主体的な知の体系化】

修得した個々の知識を、理論や技能も合わせて学生自らが主体的に関連付け体系化することを促し、そうした体系に裏付けられた優れた観察力や洞察力など、課題や対象に対する深い理解に不可欠な統合力の涵養を図る。これにより、未踏の領域の新しい課題に対しても積極的に向き合う意欲の高揚と知識活用能力を育む。

#### 【学習プロセスの重視】

学生の可能性の開拓と研磨には、「何を学習したか」だけではなく、「いかに学習したか」が重要である。そのために、「問いかつ学ぶ」姿勢を保持し、何事にも果敢に挑戦する勇気と知的好奇心を生み出す学習プロセス重視の教育を行う。

### 4 骨太のリーダーを養成する大学

複雑で困難な課題にも果敢かつ冷静に対峙し、問題の本質の解明と異なる考えや価値観の理解に努め、能動的に問題の解決に立ち向かい、社会の進むべき方向を提示できる、広い教養と深い専門性を持つ骨太のリーダーを養成する。

#### 【先見性と俯瞰力の獲得】

次世代を切り開くリーダーには、豊かな感性と確かな先見性に加えて、既成の概念や価値観に囚われることなくミクロ、マクロの双方から課題の本質を見極める分析力や俯瞰力、多様な文化と価値を理解する受容力が必要である。こうした能力の獲得を目指した教育を行う。

#### 【挑戦する姿勢】

複雑困難な課題や状況に遭遇しても、真摯に向き合うことが、自らの可能性を試す絶好の機会であるという自覚を促し挑戦する姿勢を育む。もって、新しい課題や領域に踏み込んでいく勇氣あるフロンティア精神の涵養を図る。

#### 【創造的な連携の重視】

新たな解決策を導き出す深い洞察力と領域を俯瞰する柔軟な構想力と豊かな包容力は、多様な価値観との出会いや異なる考えを持つ他者との創造的な連携から育まれる。そうした能力と姿勢を涵養するために、専門分野を超えた知的交流、創造的対話、人間的繋がりを重視した教育を行う。

#### 【しなやかな行動力】

リーダーには、自らの強い信念を持ちつつも、いかなる状況においても柔軟に対応できる強くて「しなやかな行動力」が求められる。こうした社会の諸問題を自らの課題として受け止める力量と人間性の中に宿る行動力を、幅広い視野を持って他者と積極的に交流することを通して、また、社会的、文化的な活動など様々な学習機会に主体的に参加することにより醸成する。



## 5 先端医療により地域と国際社会に貢献する大学

高度医療機関としての診療、医師・歯科医師・看護師・薬剤師その他の医療従事者の卒前・卒後教育、疾患の病態や新しい診断・治療法などの臨床研究において常に日本をリードし、健全な病院運営に努め、最高の医療を目指す。

### 【高度先端医療の開発と提供】

救急、難治性疾患に対して診療科間の連携及びチームによる高度先進医療を行う。医療安全・感染対策や大災害時における危機管理に際し、救急拠点、災害拠点として、自治体・地域医療機関と連携し、積極的に参画する。日本やアジアの中核病院として、人と情報のネットワーク形成により国際標準の医療提供、国際共同研究や共同治験の推進、先端的な医療開発などを行う。「病診連携」や「病病連携」、「薬薬連携」などによるネットワークづくりを進め、医療の質の向上と均てん化を図る。

### 【高度な専門性を持つ全人的医療のできる医療人の育成】

医師・歯科医師・看護師・薬剤師・その他の医療従事者の卒前卒後教育の高度化を図り、医療の高度な専門的知識や技術の修得とともに、病気を心身両面から全体的に捉えることができる医療人を育成し、輩出する。また、知的好奇心や科学的論理性を涵養し、生涯に渡る臨床能力向上のための教育を提供する人材育成システムの中心的役割を果たす。

### 【基礎研究の臨床への展開と学際的研究の推進】

基礎研究の成果を臨床研究へと繋ぐ高度先進医療の開発を進め、総合大学として学際的研究の拠点を形成する。世界をリードする革新的医療技術、薬剤の開発や難治性疾患の克服を目指した新しい診断・治療法の開発を推進する。

## 6 卓越した研究教育環境を構築・維持する大学

長期ビジョンに基づき、普遍性、先進性、柔軟性を併せ持つキャンパスを整備し、維持する。学生、教職員、学外からの研究者などの来訪者へ質の高い快適な環境を提供し、最高水準の研究教育活動を支え、同時に、都市・地域の重要な資産として、市民の誇りと頼りになる社会に開かれたキャンパスとする。

### 【都市・地域の核としてのキャンパス】

都市・地域の核として産学官民の連携活動による産業の振興に貢献できるキャンパスとする。都市・地域の豊かな資源と調和したコミュニティの形成と環境づくりに貢献する。地域雇用の創出、交通インフラの整備など、都市・地域特有の課題解決と発展を支援する。

### 【地球環境負荷の低減と環境共生】

世界をリードする次世代エネルギーの研究拠点として、次世代技術の研究開発と実証実験を行い、地球環境負荷低減に貢献する。また、生物多様性と文化遺産の保全に努め、歴史、環境と共生できるキャンパスを整備する。

### 【健康と安全安心への配慮】

学生、教職員の健康保持に配慮したキャンパスとして、肉体的、精神的、社会的に調和のとれた健康な状態を保つ環境と、パンデミック等の緊急時にも対応できる医療施設を整備する。誰もが安心して研究教育診療活動に専念できる安全なキャンパスとする。

## 7 災害時における復旧復興の拠点

災害時の研究教育継続に必要な学生・教職員等の迅速な安否確認・安全確保システムを構築し、ライフライン等が早期復旧できる回復力を有するキャンパスとする。また、地域の避難拠点として連絡・連携体制の強化に努める。

## 7 グローバル社会と地域社会を牽引する大学

広範で機動的な国際コンソーシアムを形成して、国際社会が直面する課題の解決を先導し、同時に、こうした国際活動を通して、教育の国際化を強力に推進し、国際社会でリーダーとして活躍できる人材を育成する。また、日本及び地域を代表する教育研究診療の交流拠点としての役割を果たし、グローバル社会と地域社会の双方に貢献する大学を目指す。

### 【都市との共生】

中核的都市は、世界的な拠点大学とともに成長し、拠点大学もまた、それが立地する都市とともに発展する。グローバル化が急速に進む都市との共生を大切にして、地理的・歴史的特性を活かして都市のグローバル化に貢献する。

### 【グローバル人材の育成】

日本文化を深く理解し、多様な文化や価値観を受容する豊かな感性と能力、国際社会に必要なコミュニケーション能力を身につけた、積極性のあるグローバル人材を組織的に育成し、社会に輩出する。

### 【教育の国際化】

高度にグローバル化する社会にあって、教育の質を一層高め、世界各国からの優れた学生を増やす。そのために、世界トップクラスの大学と教育に関する連携を推進し、単位互換やダブルディグリー、ジョイントディグリー制を確立し、教育の国際的質保証を強化する。

### 【国際コンソーシアムの強化】

環境やエネルギー、人口と食糧、感染症など、人類にとって重大な課題の解決に向けて、国境を越え、多様な感性と能力を持つ研究者を集結し、創造的研究を展開する。世界をリードする海外の大学等とのコンソーシアム形成を推進し、国際的産官学連携を進めるとともに、国際舞台で活躍する研究者を育成する。

## 8 自律的改革により進化し続ける大学

組織と運営体制を自律的に改革することにより、今後の世界規模の変革にも柔軟に対応し、次の科学革命を起こす「知」のシーズが創出でき、信頼・評価される大学を目指す。

### 【永続性のある改革制度】

世界的な研究教育拠点の実現のため、九六百年に際して導入した「永続性のある強靱な改革制度」を継承し定着させ、大学の将来計画の実現のために活用する。社会の変化の方向を読み取り、柔軟に適用、自己変革していくため、迅速な大学全体の合意形成制度を構築、改善、継承する。

### 【多様な人事制度】

多様な教員、職員の採用制度を設け、若手研究者の積極的採用、女性研究者、外国人研究者の積極的確保、適正な人員構成からなる組織構築を行い、流動性の高い教員人事、能力に応じたキャリアパス支援、若手教職員育成のための体制を整える。

## 【経営基盤の強化】

組織的対応により、競争的資金の獲得と社会連携による取入確保に努め、経営基盤を強化する。我が国の寄附文化を醸成することに努め、大学基金を充実させ、教育研究環境の整備に活用する。

### 【評価と改革】

運営活動内容を集約・解析し、わかりやすく社会に開示し、評価を受け、それをもとに更に改革を推進し、信頼と評価を高める。

### 【コンプライアンスの徹底】

社会、国民からの信頼を維持するため、法令や人権について自ら律し、研究費の使用や学位審査体制等の各種コンプライアンスを徹底する体制整備と改善を行う。

## 9 知の蓄積と継承・発信を推進する大学

人類社会の発展に貢献する知の探求・創造とそれを担う指導的人材を育成するため、大学をあげて、学術情報基盤の整備と機能強化を図り、新たな知の蓄積と継承・発信の方法を創出し、先導する。

### 【学術情報基盤の強化】

ネットワークやスーパーコンピュータ、各種サーバなどに関して、常に最先端の学術情報基盤を整備・提供し、大規模データを扱うデータ科学や超大規模計算を推進し、同時に、探求・創造された知を知的財産・学術情報として蓄積・管理し、多様な形態で提供し、世代を超えて継承する。

### 【知の体系化と活用】

専門分野における知を深化・進展させるとともに、俯瞰的な視点で体系化する教育研究活動を推進し、体系化された知を社会が要請する課題解決に活用できるような体制を構築するとともに、それを生んだ教育研究を展開する。

### 【知の蓄積と発信】

最新の情報通信技術を駆使して新しい学術情報の発信・蓄積・継承の方法を創出・普及させるとともに、機関リポジトリの拡充や教育の国際化を先導する教材開発に組織的に取り組み、知的生産物の恒久的な保存と国内外への効果的な公開・発信を推進する。

### 【知の連携拠点】

先進的な情報通信基盤を活用し、地域における知の連携拠点として、教育・研究・診療等の「知」の営みの成果をより広く社会に発信・公開し、地域の学術・教育・産業の発展に寄与する。

